

16項目の具現化

2024 テーマ『まず、やってみよう！～ 私の学校は私がつくる ～

※本年度の重点項目

※赤字 前年度からのブラッシュアップ

市教育振興基本計画	No	16の視点	具体的な推進内容
確かな学力の定着	1	知的好奇心の向上	面白い！を大切にする学級経営・読書活動の重視・視野を広げる取組
	2	問題解決型学習 PBL の推進	5つのステップを重視（課題設定・情報収集・見通し・実践・表現）
	3	教育 DX の推進	児童の情報活用能力の向上・教師の ICT 活用指導力の向上
	4	体験学習の推進	地域リソース（ヒト・モノ・コト）の開拓・活用
輝く未来に向かって ※agency の育成	5	自己効力感	「他者から反響がある喜び・小さな変化を引き起こす喜び」の実感 例：聞く力の重視・各委員会からの発信 等
	6	自己有用感	「役立つ喜び」の実感（清掃活動・委員会活動・ボランティア活動 等）
	7	つながる力	人（ゲストティーチャー等）・もの（教材等）・コト（行事等）と協働する喜び 自ら企画・推進する体験（失敗を恐れない！）
	8	自己を見つめる力	「特別の教科 道徳」の充実（考え、議論する中で自分を見つめる時間の確保） キャリアバムの活用（自己評価を振り返る・サポートする）
豊かな心の醸成	9	多様性を認め合う心	聞く力（態度）の育成・特別支援教育の浸透・対話的な学習の充実
	10	豊かな感性	芸術系教科（音楽・図工等）の充実・自然体験の重視・読書活動の重視
	11	折れない心（レジリエンス）	「まず、やってみる！」習慣の形成・小さな成功体験・形成的評価の重視
	12	折り合いをつける心構え	特別活動（学級会等）の話合い活動・アサーティブな態度の育成
健やかな体の育成	13	体を動かす喜び	体育の授業改善 元気アップタイム・元気アップガイドブック・プレイパークの活用
	14	生活習慣	グッドモーニング 60分・SNS ルール・生き生きカード
	15	「食」の循環	「食」を通じた持続可能な社会へアプローチ・学級園の利活用
	16	「性・生命」の尊重	包括的性教育・いじめ防止教育・SOSの出し方教育

1 6の視点	確かな学力の向上	Key Person
<p>1 知的好奇心の向上</p>	<p>○面白い！を大切にする学級経営 学力向上の根幹は主体性にあり、学校生活全体で育むべきある種の空気感である。</p> <p>○読書活動の推進 今後の豊かな人生のためにも「読書好きな児童の育成」を重視。</p> <p>○児童の視野を広げる取組の工夫 自らが社会の担い手となる児童の育成には、この社会に希望をもつことが肝要。あらゆる媒体、直接体験を生かし児童の視野を広げたい。</p>	
<p>2 問題解決型学習（PBL）の推進</p> <p>低学年：教科横断型 中学年：自由進度型 高学年：プロジェクト型</p>	<p>○5つのステップを重視（課題設定・情報収集・見通し・実践・表現）したPBLの推進</p> <p>①課題設定：自ら、自分事として課題を見つける、設定する。</p> <p>②情報収集：あらゆる媒体を駆使して、正しく有為な情報を集める。</p> <p>③見通し：解決までの具体的な見通しをもつ。</p> <p>④実践：他者との協働や、形成的な自己評価に基づいた軌道修正を含めた実践力。</p> <p>⑤表現：他者の理解・共感を得られるまとめ方や表現力。</p>	
<p>3 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進</p>	<p>○ICT活用スキルの向上 学習への積極的な活用推進。「個別最適な学び」のツールとしてだけでなく「協働的な学び」への活用およびプレゼンテーション能力の向上もポイント。</p> <p>○情報リテラシー教育の推進 必須事項。将来的なトラブル防止を前提に、生活指導上の課題としても重要。</p> <p>○プログラミング教育 PCソフトを使った基本的な操作の習得。プログラミング的思考の日常化も重視。</p>	

4 体験学習の 推進	○体験学習の拡充（地域リソースの活用） 光華遊学に向けても、「共同体験」を重視。地域人材・資源の活用推進においては、「新規の人材・資源」開拓と「本校として継続すべき人材・資源」を共有。	
輝く未来に向かって agency の獲得		
5 自己効力感	○「まず、やってみる」心のクセをつける 失敗を恐れず、できないことをいやがらない習慣付け。クラスの雰囲気作り。 ○リアクションの推進 聞く力（態度）の重視、あいさつ運動の工夫（される側の対応）、特別活動（委員会等）の 形成的評価 など	
6 自己有用感	○周囲の役に立つ実感・喜び 清掃活動・委員会活動・ボランティア活動の工夫、学校外（地域やPTA）との協働的な作業	
7 つながる力	○人・モノ・コトとつながる体験の重視 — 児童の主体性を支える学校 — ゲストティーチャー招聘、教材・学習材の工夫・イベント企画の機会提供 など ○新たな学びのスタイルを通じて 教科横断型学習、プロジェクト型学習 等	
8 自己を 見つめる力	○特別の教科「道徳」の充実 自分事（自分はどうか、自分ならどうか）として考え、議論する授業展開を。 ○キャリアバムの活用 個人面談での活用。児童の自己評価をサポートする教師＋保護者の共通認識を確立。	
豊かな心の醸成		
9 多様性を 認め合う心	「共生社会」を担う一員として！ ○特別支援教育（理解教育）の浸透 くすのき教室を軸に、通常級での理解教育を推進。 ○対話的な学びの充実	

	<p>「アサーティブな」態度、傾聴スキルの定着。</p> <p>○豊かな国際感覚 日本のよさを理解。外国のよさを理解。</p> <p>○性的マイノリティへの理解促進</p>	
10 豊かな感性	<p>○芸術系教科（音楽・図工）の充実、日常化 授業の充実。日常的に感性を刺激する工夫（仕掛け）。</p> <p>○自然体験の重視 移動教室、学級園、栽培活動、星空観察などの体験。</p> <p>○読書活動の重視 すぐれた文学作品の紹介 など。</p>	
11 折れない心	<p>○小さな成功体験の積み重ね スモールステップと見通しの連続で、自らゴールイメージを描ける人間に。</p> <p>○「達成感」を味わわせる活動の工夫 行事の目的を明確に。どこに子供たち（学級経営）の目的を置くか。</p> <p>○形成的評価の重視 「軌道修正しながら続ける」ことの価値を体感させる活動の工夫</p>	
12 折り合いをつける心構え	<p>○対話的活動の充実 例：学級会、全校集会</p> <p>「アサーティブな」態度、傾聴スキルの定着。</p>	
健やかな体の育成		
13 体を動かす喜び	<p>○体育の授業改善 体育の目的は「生涯にわたって運動に親しむ」人間づくり＝面白いか、どうか？！が重要 こうすればできる、ことが知識としてわかる教師に！（技能分析の重要性）</p> <p>○元気アップタイム（体育的活動）・元気アップガイドブック・プレイパークの利活用 登校時、休み時間、放課後、集会を利用して運動遊びを仕掛ける工夫</p>	

14 生活習慣の 自己コントロール	生涯に渡って生きる知識の獲得を！ ○グッドモーニング 60 分の推進 ※昭島市必須！ ○SNSとの付き合い方 児童・家庭に届く啓発活動。小中連携の中で9年間を通した啓発活動。	
15 「食」の循環	○持続可能な社会の創り手へのアプローチとして ・食べられる野菜づくり ・残菜の再利用 ・土づくり ・人的なつながり	
16 「性・生命」の 尊重	○包括的性教育（保健学習を中心として） 正しい知識の獲得が、正しい行動につながる！ ○自分を守る 性被害防止、いじめ防止教育（年3回の授業）、「SOSの出し方」教育の定着。 ○ゲストティーチャーの活用 「命の授業」5年：助産師さんの講話、6年：日航機事故遺族の方の講話 等	